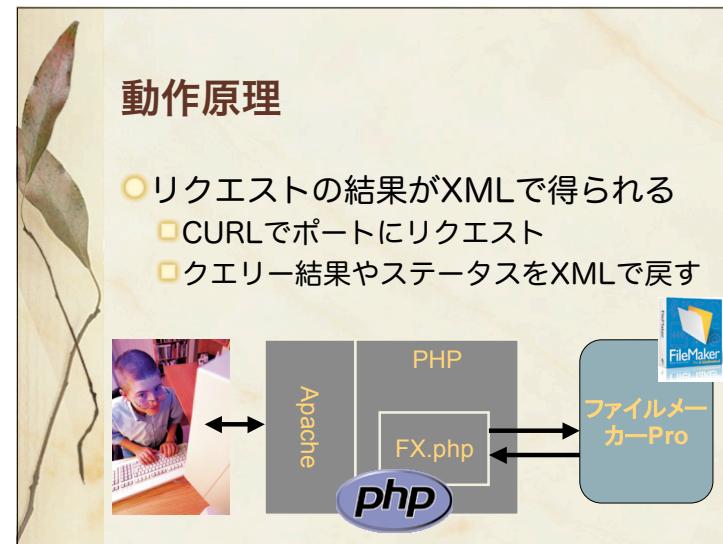
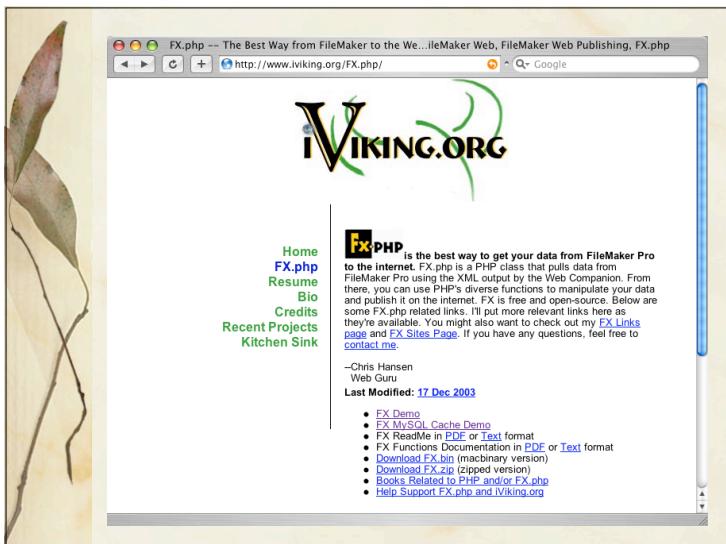


## Web公開機能の利点と問題点

- ファイルメーカー自身がWebサーバになるなどお手軽な機能ではある
- サーバー再度のスクリプトは、CDML
  - いわゆる「タグ言語」
  - 高度な処理に向かない
- ファイルメーカーの問題
  - シンプルなスクリプト機能
  - 「繰り返しフィールド」などの独特の概念

## PHPからファイルメーカーを利用する

- FX.phpをiViking.orgが開発
  - <http://www.iviking.org/>
- Pure PHP!!!!
- しかし、日本語がダメ...
  - UTF-8を#xxxxxに変換
  - 入力はまったくダメ
- ソースがあるので、日本語化しました
  - [http://msyk.net/fmp/fx\\_ja/](http://msyk.net/fmp/fx_ja/)



## デモ

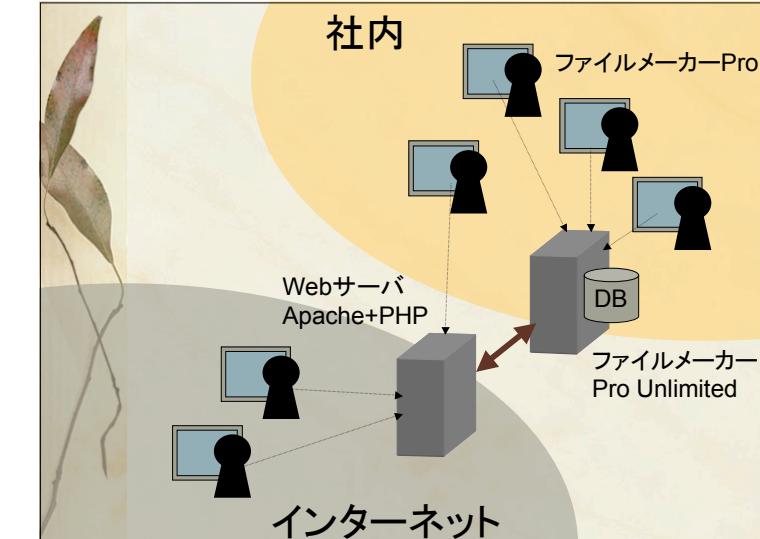
- WebブラウザからファイルメーカーProのデータベースを参照
- 入力や検索
- プログラムをざっと見る

## FX.phpの利用のポイント

- ファイルメーカー側を正しく設定
  - Web公開
  - フィールド、レイアウトを用意
- FX.phpはクラス
  - いくつかのメソッドを呼び出す
  - 検索結果は配列で得られる

## システム化のメリット

- WebとC/Sのハイブリッド
- 社内をファイルメーカーProで構築
  - 手軽に開発
  - 印刷文書から集計まで
- 外向きのサービスをPHPで構築
  - 外にさらす部分だけをPHPで
  - メールなどは作りやすい環境で
  - 他のデータベースとのゲート



## なぜファイルメーカーなのか？

- ユーザサイドで取り組める開発環境
- 開発コストの低減
- コード書きからの解放

## なぜPHP？

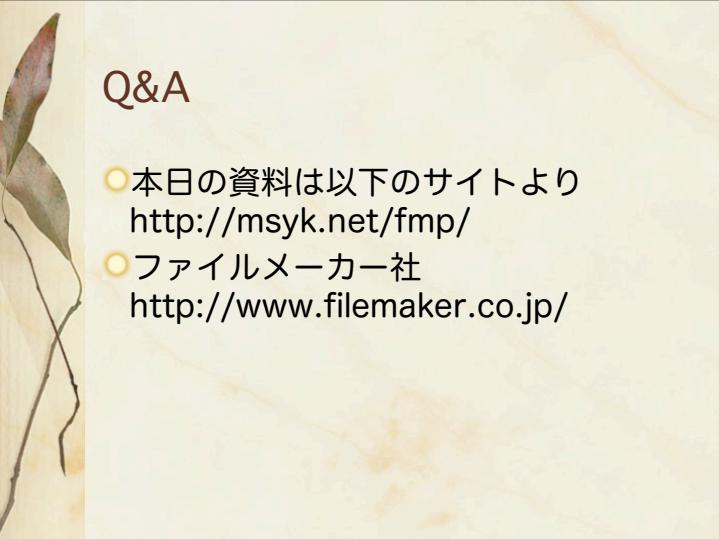
- ファイルメーカーProのWeb公開機能
  - Web入力時の判断や分岐などの細かい処理を組み込みにくい
  - 機能の実現方法がやや独特
  - ロジックをファイルメーカーに持たせるのはかえって複雑化
- Webスクリプト
  - やっぱり、PHPがいちばんお手軽では

## FileMaker 7に向けて

- 2004年にFileMaker 7へと進化
- 今年中にサーバを含めた全ラインナップがFileMaker 7へ
- ファイルメーカーPro 6 Unlimitedがなくなり、FileMaker 7 Server Advancedへ

## FX.phpのFileMaker 7対応

- FileMaker Pro 7での利用は多分ダメ
- FileMaker Server 7はWeb機能はない
- FileMaker Server 7 Advanced（未発売）でしかきっと使えない
  - Unicode対応しているとは言え
  - ちょっと高価（約30万円）
  - でも、FX.phpの対応予定はある（模様）



## Q&A

- 本日の資料は以下のサイトより  
<http://msyk.net/fmp/>
- ファイルメーカー社  
<http://www.filemaker.co.jp/>